

第68回在宅チーム医療栄養管理研究会記録



日時:平成25年12月22日(日) PM14:00~16:55

場所:社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター3階

■ 1. 市原代表挨拶

■ 2. 講演① リハビリテーションと栄養「サルコペニアについて」

戸田中央リハクリニック 高橋浩平先生(理学療法士、NST 専任療法士)

講演内容:近年話題のサルコペニアとは、「筋力量と筋肉の進行性かつ全身性の減少に特徴づけられる症候群。身体機能障害、QOL低下、死のリスクを伴うもので、加齢、ADL低下、低栄養、悪液質等の疾患はサルコペニアの危険因子である。運動はサルコペニアに効果があり、栄養管理とリハビリテーションを同時に行う(以下:リハビリテーション栄養)とより一層の効果がある。今回、高橋浩平先生より御

講演いただいた内容は、実績のある症例をもとに、サルコペニアの改善・予防は、リハビリだけでは改善が難しいことも多く、栄養管理も同時に行っていくことにより一層効果が得られこと、そのために、「リハビリテーション栄養」は、チームで連携をとっていくことと、在宅では職種を超えた知識も大事とのお話をしていた。



■ 3. 業者商品情報提供

- ①三和化学研究所(リカバリースープの紹介)
- ②ふくなお(おせち料理紹介)
- ③MiyaGen(お粥ゼリー紹介)

休憩・業者商品展示



■ 4. 講演②「ゆるやかな糖質制限食の栄養療法」

北里研究所病院 栄養科長 内田淳一先生

講演内容:糖尿病の食事療法で、食品交換表を利用したエネルギー制限食よりも簡便な方法として考えられた「ゆるやかな糖質制限食」を実践されている内田淳一先生に、糖質制限食・栄養指導の進め方、留意点、対象患者の選択(糖質制限食禁忌患者、継続困難患者など)、糖質制限食の効果等をお話していただいた。また、江戸時代から現代までの生活習慣と食習慣の特徴や、新石器時代の食事パターン、幅広い多くの貴重な資料から分かりやすく、興味深いお話しをお聞きした。



■ 5. 質疑応答

■ 6. 終了挨拶

次回開催: 2月23日(日)

場 所: 杉並区 高井戸地域区民センター予定
(杉並区高井戸東3-7-5)

報告: 第68回担当: 三瓶・川戸・坂主